

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 26 日 (2020.11.26)

【公開番号】特開 2019-72386 (P2019-72386A)

【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2017-202322 (P2017-202322)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 14 日 (2020.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口と、

前記始動口への入球に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定の結果が特定結果となると、遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

前記判定手段が特定結果と判定する判定確率として、複数の判定確率を記憶する判定確率記憶手段と、

所定の入力操作によって、前記複数の判定確率のうち所定の判定確率を選択可能な判定確率選択手段と、

前記判定確率選択手段で選択された所定の判定確率を、前記判定手段の判定確率として設定可能な判定確率設定手段と、

前記判定確率設定手段で設定した判定確率を示す情報を少なくとも含む、遊技状態情報を記憶可能な遊技状態情報記憶手段と、

電力供給を行う電力供給手段と、

電源電圧の低下を検知することに基づいて、前記遊技状態情報記憶手段に記憶される遊技状態情報を、電力供給の停止後も所定期間記憶保持可能な記憶保持手段と、

前記電力供給手段が電力供給を開始した際に、前記記憶保持手段が記憶保持した遊技状態情報に基づいて、電源電圧の低下を検知したときの遊技状態情報を復旧する遊技状態情報復旧手段と、

前記電力供給手段が電力供給を開始した際に、前記記憶保持手段が記憶保持した遊技状態情報を消去し、電源電圧の低下を検知したときの遊技状態情報を復旧しない遊技状態情報初期化手段と、

発射球数と賞球数とからベース値を算出するベース値算出手段と、

所定の遊技情報を表示可能な遊技情報表示部と、

を備え、

前記始動口への遊技球の入球頻度が低い低ベース状態と、前記始動口への遊技球の入球頻度が前記低ベース状態よりも高い高ベース状態と、を設定可能な状態設定機能と、

前記判定確率設定手段が設定した判定確率を、低確率と、前記低確率よりも高い高確率と、に設定する確率変動機能と、を有し、

遊技状態として、少なくとも、前記低ベース状態且つ前記低確率に設定される通常状態と、前記高確率且つ前記高ベース状態に設定される高確高ベース状態と、を有し、

前記遊技情報表示部には、前記ベース値算出手段が算出した前記ベース値を表示可能とすると共に、前記低確低ベース状態においても、前記高確高ベース状態においても、前記低確低ベース状態において算出した前記ベース値を表示し、

前記判定確率設定手段は、

前記遊技状態情報初期化手段によって遊技状態情報を復旧することなく遊技を開始する場合には、前記判定手段の判定確率を変更可能とし、

前記遊技状態情報復旧手段によって遊技状態情報を復旧して遊技を開始する場合には、前記判定手段の判定確率を変更不能とするものであって、

前記遊技状態情報初期化手段によって遊技状態情報を復旧することなく遊技を開始する場合であって、所定の入力操作を行って前記判定手段の判定確率を変更したときと、

前記遊技状態情報初期化手段によって遊技状態情報を復旧することなく遊技を開始する場合であって、前記判定手段の判定確率を変更しなかったときと、

前記遊技状態情報復旧手段によって遊技状態情報を復旧して遊技を開始するときと、を有する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、前述の事情に鑑みてなされたものであり、判定確率の設定機能を搭載した遊技機において、当該判定確率の設定機能の設定条件に所定の制限を設けることで、公正な遊技機を提供するものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

前述の課題を解決するための第１発明の遊技機は、

始動口と、

前記始動口への入球に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定の結果が特定結果となると、遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

前記判定手段が特定結果と判定する判定確率として、複数の判定確率を記憶する判定確率記憶手段と、

所定の入力操作によって、前記複数の判定確率のうち所定の判定確率を選択可能な判定確率選択手段と、

前記判定確率選択手段で選択された所定の判定確率を、前記判定手段の判定確率として設定可能な判定確率設定手段と、

前記判定確率設定手段で設定した判定確率を示す情報を少なくとも含む、遊技状態情報を記憶可能な遊技状態情報記憶手段と、

電力供給を行う電力供給手段と、

電源電圧の低下を検知することに基づいて、前記遊技状態情報記憶手段に記憶される遊技状態情報を、電力供給の停止後も所定期間記憶保持可能な記憶保持手段と、

前記電力供給手段が電力供給を開始した際に、前記記憶保持手段が記憶保持した遊技状態情報に基づいて、電源電圧の低下を検知したときの遊技状態情報を復旧する遊技状態情報復旧手段と、

前記電力供給手段が電力供給を開始した際に、前記記憶保持手段が記憶保持した遊技状態情報を消去し、電源電圧の低下を検知したときの遊技状態情報を復旧しない遊技状態情報初期化手段と、

発射球数と賞球数とからベース値を算出するベース値算出手段と、

所定の遊技情報を表示可能な遊技情報表示部と、

を備え、

前記始動口への遊技球の入球頻度が低い低ベース状態と、前記始動口への遊技球の入球頻度が前記低ベース状態よりも高い高ベース状態と、を設定可能な状態設定機能と、

前記判定確率設定手段が設定した判定確率を、低確率と、前記低確率よりも高い高確率と、に設定する確率変動機能と、を有し、

遊技状態として、少なくとも、前記低ベース状態且つ前記低確率に設定される通常状態と、前記高確率且つ前記高ベース状態に設定される高確高ベース状態と、を有し、

前記遊技情報表示部には、前記ベース値算出手段が算出した前記ベース値を表示可能とすると共に、前記低確低ベース状態においても、前記高確高ベース状態においても、前記低確低ベース状態において算出した前記ベース値を表示し、

前記判定確率設定手段は、

前記遊技状態情報初期化手段によって遊技状態情報を復旧することなく遊技を開始する場合には、前記判定手段の判定確率を変更可能とし、

前記遊技状態情報復旧手段によって遊技状態情報を復旧して遊技を開始する場合には、前記判定手段の判定確率を変更不能とするものであって、

前記遊技状態情報初期化手段によって遊技状態情報を復旧することなく遊技を開始する場合であって、所定の入力操作を行って前記判定手段の判定確率を変更したときと、

前記遊技状態情報初期化手段によって遊技状態情報を復旧することなく遊技を開始する場合であって、前記判定手段の判定確率を変更しなかったときと、

前記遊技状態情報復旧手段によって遊技状態情報を復旧して遊技を開始するときと、を有する

ことを特徴とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 8
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 1 8】

本発明の遊技機によれば、公正な遊技機を提供し、遊技興趣の向上を図ることが可能となる。